

2018年国民平和行進四国コース

草の根の行進で核兵器禁止条約批准の後押し世論を高めよう

5月6日高知県から開始された国民平和行進「四国コース」が、本日10日徳島県から香川県に引継がれました。

引継ぎ式は徳島県原水協の猪本百合子事務局長の徳島県の行進報告で始まります。猪本事務局長は通し行進者五十嵐茂臣氏へのお礼とともに、1県8市15町1村の行進について、自治体訪問の際に学んだ事が多くあったことについて感謝を強調。

続いて通し行進者の五十嵐茂臣氏が発言。五十嵐氏は、高校生の時から地元東京で平和行進に参加していたこと、さらに退職後に11コースの通し行進をすでに9コース制覇したこと、その10コース目の挑戦であり、徳島県へのお礼と感謝を述べ挨拶としました。さらに今年は、核兵器禁止条約採択されたがその批准・発効に向け運動は続くことを協調し、広島まで続く道々での訴えを決意表明し挨拶としました。

続いて引き継ぐ香川県は原水協松永始筆頭代表理事が、徳島県参加者と五十嵐氏に対して行進を労いました。そして今年は行進60年の節目の年、現在核兵器禁止条約は58カ国の調印・10カ国の批准の到達を見すえ、「核兵器にしがみつくと日本を告発。政府の批准に向け、原爆の火を先頭に、批准の後押し世論を、行進で広げていこうと決意表明しました。

東かがわ市在住（与田山）の被爆者Kさん（広島で被爆・90歳）は、参加はかなわなかったが頑張ってくださいとの伝言預かっていました（東かがわ市原水協東本政行理事）

本日の参加者の最年少T君はお父さんと一緒に参加した小学2年生でした。最終地点で声をかけると「疲れた」と笑顔で元気に答えてくれました。【参加：9組織19人】

本日の引継ぎ式の進行は、高教組安部行洋執行委員長でした。



徳島・香川の参加者 全員集合